



三二
情報

2022.12

美しいギヤマンクラゲ

ギヤマンクラゲは、関東より北の地域で見られるカサの直径5cmほどのクラゲで、透き通った体と長い触手が特ちょうです。名前の「ギヤマン」は、オランダ語の「ダイヤモンド」に由来した言葉で、江戸時代にはガラス製品のことをさしていました。成長とともに触手が伸び、お互いにからまりやすくなるため、飼育する数や水流を調整しています。ガラスのように透き通った美しい体に、長い触手をなびかせて泳ぐ優雅な姿をご覧ください。

Kamogawa
SEAWORLD